

のアルバム

頑張れ日本のエース!

中主中学校3年生の樋上颯太さん(吉地)が、野球の日本代表(侍ジャパンU-15)に選出され、8月10日からパナマで開催される第4回WBSC U-15ベースボールワールドカップへの出場が決定したことを受け、市役所で激励会が開催されました。

樋上選手が野球を始めたのは小学1年生の頃。現在は、最速143km/hの直球と、多彩な変化球を持ち味に所属チームのエースピッチャーとして活躍されています。

大会への抱負を尋ねられると、「周りの期待に応えられるよう、世界一を取ってきます。」と力強く語りました。

世界の強豪が集う大会で、日本のエースとしての活躍を期待します。

▼7月27日 市役所



▼7月21日 蓮池の里多目的公園

夏の一大イベント 夏まつり花火大会

今年も野洲市夏まつり花火大会が盛大に開催され、前年を上回る3万7,000人が来場しました。

当日は猛暑でしたが、ステージでのパフォーマンスや食べ物、ゲームの屋台など思い思いに夏まつりを満喫していました。

今年度は会場中央に設営された檜で、芦浦民謡会の皆さんが江洲音頭を披露。来場者の皆さんも檜を囲んで踊りに参加し、まつりのムードをさらに盛り上げていました。

メインイベントの花火は約3,000発、野洲の夜空を彩る色とりどりの花火が打ち上がる度、会場からは歓声が上がっていました。



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

168

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

八夫遺跡の木棺墓

平成10年度、野洲市の八夫集落南側で行われた大規模な発掘調査によって、中世前期（12世紀中頃）の木棺墓が発見されました。この木棺墓は、弥生時代の大溝（幅3.2～5.1m、深さ約0.7m）が年月の経過によって土砂で埋まり、平地化した後につくられました。

木棺墓は土圧により蓋板が棺の底部まで落ち込んだ状態で検出されました。木棺は蓋板2枚、底板5枚、側板各2枚、小口板各2枚で出来ています。棺の内寸は縦1.35m、横0.65m、深さ0.25mを測ります。棺内北側に黒漆塗手箱（縦36cm×横26cm×高さ14cm）を置き、中央部の三方の上に土師器小皿12枚をのせ、南側には重ねた折敷の上に、土師器小皿10枚をのせていました。

この内、手箱内には横櫛1点、白磁片、青白磁小壺1点が納められていました。この手箱は出土品から化粧用の箱と考えられ、副葬品に烏帽子や刀子が見られないことから女性の墓と思われます。

木棺墓の周辺には、平安時代後期の集落が発見されており、このうち最も大きな建物跡の北側（約15m）にこの木棺墓が位置するため、この建物に関わる屋敷墓の可能性が考えられます。当地は鎌倉時代以降、集落としては衰退し、畑作に伴う素掘溝や水路が見られるだけとなります。

今回の考古資料展では「野洲の中世集落」と題して、八夫遺跡出土の化粧箱の一部と野洲市西河原の光明寺遺跡の墓跡から出土した白磁碗を展示していますのでご覧ください。（博物館学芸員 徳網克己）

■考古資料展「野洲の中世集落」10月14日(日)まで

休館日：月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日（土曜・日曜日、祝日は開館）、9月4日(火)～6日(木)

※市民は入館無料



八夫遺跡出土の木棺墓（野洲市教育委員会蔵）



災害時に役立ってます

本市と「災害時における電気設備の応急復旧の応援に関する協定」を締結している、滋賀県電気工事工業組合から災害用備品（LEDヘッドランプ、防滴メガホン）が寄贈されました。

災害時や訓練等で有効に活用していきます。

▼8月8日 市役所



全ての力を出し尽くそう

全国中学校体育大会・近畿中学校総合体育大会に出場する選手（中主中学校15人、野洲北中学校4人）の激励会が行われました。

当日は陸上競技に出場する溜池一太さん（野洲北中）が選手を代表して決意表明を行い、「大会への出場は、家族、仲間、多くの方々のおかげです。全力で頑張ります。」と語りました。

お世話になった皆さんへの感謝の気持ちを胸に、これまでの練習の成果を大会で存分に発揮されることを期待しています。

▼8月1日 市役所

